



2年後期 学年プログラム委員(会長・副会長)を紹介します

1組会長 西川 恵矢 さん …… 学年プログラム委員会委員長

後期2年1組会長、学年プログラム委員長になった西川恵矢です。僕は前期生徒会書記になり、いろいろな経験をしてきました。生徒会の中では、2年生が1人で足を引っ張っていった場面もありましたが、生徒会スタート集会から運動会まで、全ての行事を成功させることができました。この経験を生かして、2年生一人一人が、半年後に最高学年である自覚と責任を持てるようにしたいです。そのために、まず自分から行動して学年を引っ張っていき、よい雰囲気クラスから学年に広げていきます。半年間よろしくをお願いします。



1組副会長 越後 心結 さん

私が、後期プログラム委員になったからには、自分から行動することを意識し、みんなを引っ張っていき存在になりたいです。自分がやるべき仕事だけをこなすのではなく、この学年をどうすればよい方向に引っ張っていけるのか考え、行動し、良い学年にしていきたいです。そして私達が3年生になったときに、1、2年生に尊敬されるような学年にしていきたいです。他にも一人一人が過ごしやすく、楽しい学年にしたいです。半年間よろしくをお願いします。

2組会長 萩 柊太 さん …… 学年プログラム委員会副委員長

後期2年2組会長になりました萩柊太です。僕は、会長になって、クラスのお手本、学年のお手本の姿になりたいと思っています。そのために、自分から積極的にあいさつや授業に取り組みたいと思っています。2年の後期は、受験にも関わると思うので、勉強を頑張れるようなクラスの雰囲気にしていきたいです。学年目標が「協挑」なので、プログラム委員の人と協力して、プログラム委員中心に何事にも頑張れる学年にしていきたいです。半年間よろしくをお願いします。

2組副会長 西村 優杏 さん …… 学年プログラム委員会書記

後期2組副会長になった西村優杏です。2年生の後期は、来年の受験に向けてしっかりと自覚を持たなければならない大切な時期です。受験を突破できるかどうかは、そのクラスまたは学年の雰囲気で決まるとも言われています。そこで私は、雰囲気を良くすることを意識していきたいと思っています。ですが、それは何人かが頑張るだけでは良くなりません。一人一人がこのことを意識して、全員で頑張ることがとても重要になってくると私は考えます。受験は個人戦ですが、それまでの受験勉強は団体戦です。みんなで協力して良い雰囲気をつくり、一人一人が輝けるような学年に行きましょう。よろしくをお願いします。



3組会長 栗原 脩成 さん

後期2年3組会長になった栗原脩成です。僕は今まで、会長という立場になったことが一度もありませんでした。だからこそ、失敗することはあるかもしれないけれど、決して恐れずに頑張っていきたいです。突然ですが、僕が目指す2年生像について紹介します。2年生の学年目標は、「協挑～輝く(きらめく)背中～」でした。この学年目標には、「協調や挑戦をして、後輩にいい姿を見せる」という意味が込められています。協調というのは、「互いに心を合わせて問題を解決しようとする事」です。つまり、「2年生全員心を合わせて、いろいろな問題に直面しても挑戦していく姿」が2年生像だと僕は思います。後期は、いろいろな行事があります。「金沢自主プラン」に「学校祭」に「講座学習」も始まります。きっと迷ったり、分からなくなったりすることもあると思います。ですが、そんなときは周りの人と考えてみてください。これこそが協調です。後期も一緒に頑張っていきましょう。Keep challenging!

3組副会長 谷口 歩 さん …… 学年プログラム委員会書記

2年3組副会長になりました谷口歩です。私は、自分のクラスはもちろん、この学年を今より明るく、楽しい、活気のある学年にしていきたいです。また、学年目標である「協挑」のような学年にしていきたいです。そのために、まず自分からいろいろな人に話や声掛けをし、挑戦することを頑張りたいです。2年生の後期では、受験や3年生になるためのいろいろな準備が始まります。例えば、講座学習や立志式、卒業生に学ぶ会です。2年生みんなで「協力」して良い雰囲気で3年生になれるようにしましょう。初めての副会長という立場になったため、頼りない部分もたくさんあると思いますが、精一杯頑張ります。残りの半年間よろしくをお願いします。



4組会長 林 千尋 さん

自分は、この学年を楽しむときは全力で楽しみ、静かにしないといけない時は静かにするなど、切り替えを瞬時にし、全員が協力して良いと思う結論を出す力を身に付けられるような手助けをしていきたいです。そのためには、学年や学級でレクリエーションなどを行ない、みんながやりたいことをして、クラスのチーム力や個人々の協調性を高めていこうと思います。また、今年に入ってから、小テストの満点人数にあまり変化がなく、減っている時もあるため、プレテストなどの対策を行ない、不合格者を減らし、満点者数を増やしていき、どのクラスも良い結果を維持できるようにしていきたいと思います。しかし、厳しすぎると、協力しようとしてくれる人がいなくなると思うので、みんなができるだけ楽しくできるように、リフレッシュできるようないろいろ案を考えていこうと思います。半年間頑張っていくのでよろしくをお願いします。



4組副会長 清水 直樹 さん

僕は、副会長としての自覚と責任を持ち、会長のサポートやクラスが良い雰囲気になるように頑張ります。また、クラスだけではなく、2年生という学年全体が良い方向へと向かっていけるように、自分から模範となる行動を心がけていきたいです。さらに、「協挑～輝く(きらめく)背中～」にもある通り、後輩のお手本にもなれるような存在になりたいです。自分は、思ったことを行動に移すのが遅いと思うので、この機会をきっかけに、行動に移す能力や冷静な判断力をつけ、みんなが親しみやすい雰囲気をつくってきたいです。また、自分はみんなをまとめるという役割をしたことがなく、初めての挑戦だけど、足を引っ張らないように、自分の行動に責任を持って頑張っていきたいです。

5組会長 北方 飛陽 さん

「積小為大」僕は、この言葉をもとに後期プログラム委員として、半年間活動していきたいと思っています。この言葉は、小学校によくある像などで有名な二宮金次郎が自分の生き方考え方の基準とした言葉です。「小さな積み重ねも続ければ大きな実りになる」という意味で、似ている言葉で言えば「塵も積もれば山となる」と同じような感じだと思います。皆さんの中で、「会長」のイメージというと「真面目」というイメージが強いと思います。ですが、僕は皆さんの思う「会長」の理想像とは違うと思います。それでも、会長という役割を任せてもらったからには、責任を持って最後までやり遂げたいと思っています。また、プログラム委員としても、学年全体がもっと良くなる、明るくなる案を出していきたいです。



5組副会長 米谷 しえ さん

2年5組の後期副会長になった米谷しえです。後期では、大変なことや難しいことがたくさんあるかもしれませんが、私なりの全力で頑張りたいと思います。初めて副会長という役職についたので、わからないところやまだまだなどがあるかもしれませんが、会長や書記、クラスのみなどと、今までよりも更に良い学級をつくり上げたいと思います。私は、いつも嫌なことから逃げてしまいます。こんな弱い自分にも勝つために、やるべきことはしっかりとやって、自覚と責任を持つ半年間にしたいです。プログラム委員のみんなと一緒に力を合わせて、すごく楽しかったなと思わせられる後期にしていきたいです。先生方やみんなに、助けられることが多いかもしれませんが、精一杯頑張りたいと思います。半年間よろしくをお願いします。

後期も前期の学年目標が継続します

「^{きょう}協 ^{ちょう}挑 ～ ^{きらめ}輝く背中～」

